五行歌の会	きんきサロン通信３月号	発行:きんきサロン　代表・いぶやん 編集長・小倉はじめ No.033　2025.03.12

３月歌会、「小倉はじめ百首」の読書会も実施しました！

写真上左から、ほたるいかさだ･平村幸子･西村康則･浮游･下左から HIKARIKO･黒田節子･須賀知子･小倉はじめ･いぶやん・玉虫
（撮影：順ちゃん）

この冬は寒暖差が激しく、また雪も多く、体調維持や生活環境維持が大変でした。歌友の皆様方も大変だったと拝察いたします。きんきサロン通信 33 号(３月実歌会結果)をお送りさせていただきます。

この一年間の、きんきサロンメンバー異動の嬉しいニュースといたしましては、西村康則氏の歌会復帰、ほたるいかさだ氏の新規ご参加がございましたが、３月歌会からは小倉はじめ氏のご紹介で、順ちゃん氏が加わって下さることになりました。元々短歌をたしなんでおられたとのことで、新人とは思えない作品とご発言で、歌会を盛りあげて下さいました。「毎回よろしく！」といいますとプレッシャーがかかってしまいますので、無理なくご参加いただき、歌会を気楽に楽しんでいただけたらと願う次第です。

また、今回初めての試みとして、歌会の後半に、先般上梓された小倉はじめ氏の歌集『小倉はじめ百首』の読書会を行いました。参加者各位から、フランクでフレンドリーなコメントが出て、とてもいい読書会になったのではないかと喜んでおります。歌集を上梓された歌友さんは、他にも何人かおられますので、今後このような会を、時折入れていってもいいかなと考えております。

今回の１席は、久しぶりにご参加いただいた芦屋歌会代表の須賀知子氏、夕暮れのミラーを題材にしたミステリアスな情景描写で、ダントツの票を集めました。２席は鬼籍に入られた「戦友」を身体感覚で偲ばれた小倉はじめ氏。３席はほのぼのとした母娘の関係描写が心地よい味わいの、平村幸子氏でした。　　（いぶ記）

【314 回きんきサロン歌会結果】

1
戦友だと
云ってくれた師が
逝った
おい！といつも肩叩いてくれた
あの手の圧はもう彼岸へ
　　小倉はじめ 12 点 ２席

2
冷え込む窓辺で
風花を愛でている
胸の奥で
北国の深雪(みゆき)を
思っている
　　玉虫 ８点

3
葷酒山門に入るを許さず
韮　薤(ラッキョウ)葱　蒜　薑(ハジカミ)
生で食すと瞋を増し
煮て食べると色欲を増す　とある
なら俗人の私　食べねば
　　浮游 ５点

4
今年のお飾りも
男雛女雛だけか
振り向けば
アラサー娘
団子食っている
　　西村康則 ６点

5
コロナ罹患から甦り
白寿祝いの席上で
「皆さん、百歳まで
元気に過ごしましょう」と
母もう 100 越えの勢いで
HIKARIKO 3点
6
カーブミラーに
異界の入口のような
夕焼け
ここは
左に行くべし
須賀知子 17 点 1席
7
君よ
僕はもう家にいないと
言っとくれ
８００年後に
帰ってくるから
ほたるいかさだ 6点
8
雲は群れ
北風に乗り
吹き荒ぶ
垣間見えるは
真っ青な空
順ちゃん 7点
9
子供のころ見た夢を
今　生きている気がする
どんな夢だったか
忘れたので
結末はわからない
いぶやん 7点
10
何を啄む
遊歩道の鳩
横を歩いても
懸命に地面を突き
知らん顔
黒田節子 9点 次点
11
安否確認に来た
娘の靴下に穴
笑顔で
取り繕うところ
好きだよ
平村幸子 10 点 3席

■（参加者：11 名）いぶやん・小倉はじめ・
黒田節子・須賀知子・順ちゃん・玉虫・
西村康則・HIKARIKO・平村幸子・浮游・
ほたるいかさだ

■4 月歌会
2025.4.6(日)13 時～ウイングス京都です。

■編集長からのひと言

西村さんが歌会当日、奥さんと足を運んだ仁仁和寺境内にある「菅公縁結びの梅」の写真届けてくれました。北野天満宮より奉納された梅とのことで、知りませんでしたが、縁結びの梅とのことです。3 月らしいショットで使わせていただきました。

「小倉はじめ百首」の読書会を開いていただいて感謝でした。歌友の皆さんが、自分はこれが良かった、気に入ったとのコメントは、歌が共鳴しているなとの感覚を感じられて、これが歌作りの効用かなとうれしい時間でした。歌は、表に出せば、作者を離れ、読み手のものになる。そんな説を聞いたことがあります。全くそういうものかも知れないと改めて実感した次第です。ご参加の皆様ありがとうございました。

さて、7 月恒例の七夕歌会は湖畔に涼を求めての企画中心でしたが、今年は幹事役の西村さんが永観堂の青もみじ見学＆歌会を計画してくれており、詳細はまた、別途ご案内させていただきますが、お楽しみに。　（はじめ記）